

大切畑大橋の復旧における技術的な工夫

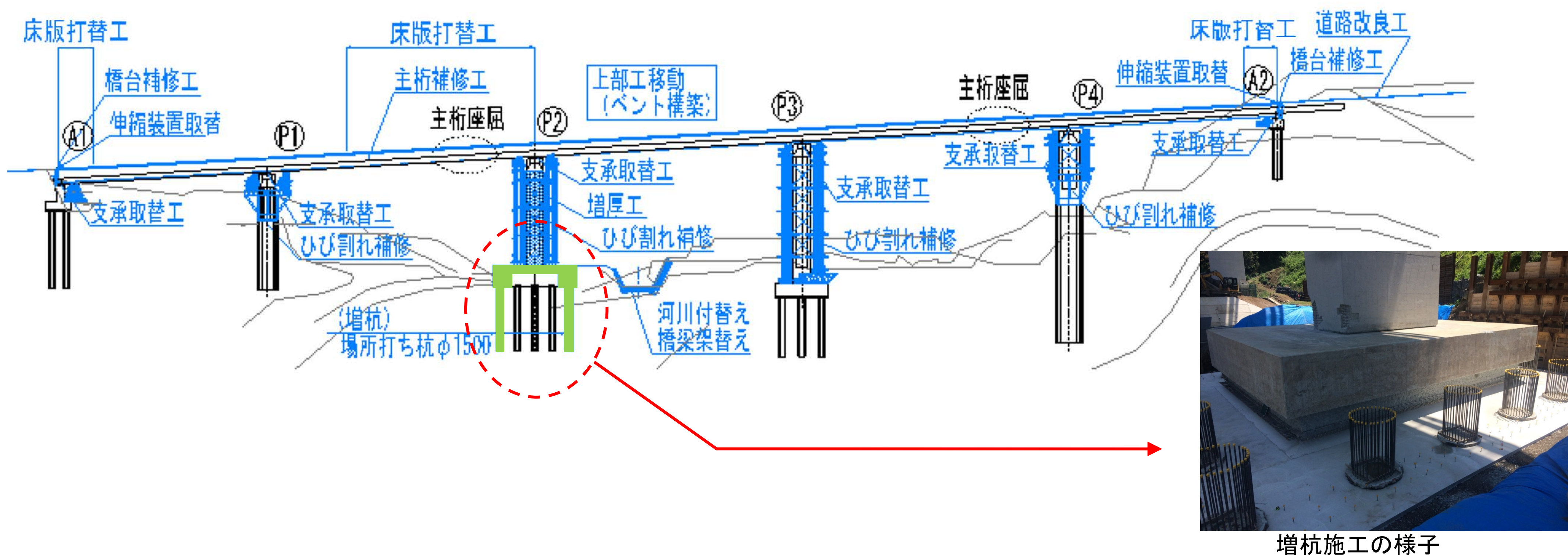


ジャッキアップ中の大切畑大橋

橋梁諸元	
橋長	265.4m
上部構造	鋼5径間連続非合成鈹桁橋
下部構造	逆T式橋台、張出式橋脚
基礎形式	場所打ち杭、深礎杭、 大口径深礎杭
架設年次	平成13年
供用再開	令和元年9月14日

① 橋脚・橋台の補修内容に応じて地震時水平力配分を見直し

- 損傷が大きかったP2橋脚は補強を行い耐荷力を増すとともに、地震の際に生じる水平力を他の橋脚よりも相対的に多く分担するように、橋脚・橋台の補修内容に応じて荷重配分を見直しました。



増杭施工の様子

② 損傷した桁に平行して新しい桁を追加設置

- 損傷した桁が無かったとしても耐荷力が確保できるように、新しい桁を追加設置しました。
- 損傷した桁も一定の耐荷力を有していることから、戦略的に残置しました。



桁に生じた変形

